

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	建国大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	人文科学学科		
報告書提出日	2019年9月19日		
留学予定期間	2019年9月～2019年12月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 1,948,000 (ウォン) /合計

航空券代： 58,060 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他 ()： () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

6月10日：VISAを取得するための情報や寮に関する案内、日程が送られてきた。

6月25日：受入許可証とVISA発給認定証が届いた。

7月8日：寮費支払いについてのお知らせが送られてきた。

7月28日：履修登録についての情報が送られてきた。また、建国大学でのバディからメールが届きカオトークのIDを交換したので、いろいろ相談できるようになった。

8月1日：空港から寮の行き方や入寮してから授業が始まるまでのスケジュールが送られてきた。

8月半ば：VISA取得のため韓国領事館へ向かった。航空券の予約を生協で行った。

寮費を銀行で支払うときに、留学先の銀行口座の住所がわからず手間取ったが、送られてきたメールに記載してあった。メールをよく読む必要がある。

VISAを取得する際にお金が必要だと思っていたが、お金はかかることなく申請することができた。

履修登録は夏休みの序盤に始まるのでしっかり資料を読み臨んだほうがよい。また、履修登録では取りたい授業が必ずしも取れるとは限らないのでいくつか時間割の候補を用意しておくとういだろう。

私のバディはとても親切な方で、いろいろと相談に乗ってくれた。わからないことがあったらすぐに聞いた方がよい。

ぎりぎりに渡航の準備をし始めたため戸惑うことが多く国際センターの方に迷惑をかける場面も少なくなかったので、準備は早めに始めた方がよい。

1.2. 渡航について

成田空港から大韓航空の飛行機で仁川空港まで向かった。

寮までは空港から出ているバスで2時間ほどかけて向かった。約10,000ウォンかかった。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

入寮の際の注意事項を確認、署名しデポジット200,000ウォンを含む1,948,000ウォンを入寮費として支払った。月々支払うわけではない。支払いは円からウォンに変えて送金するため銀行で行った。

日本人のルームメイトと2人で共同生活する。基本的に火事になる恐れのあることはできず、自炊はできない。日本からカップラーメンや電子レンジで簡単に作れるものを持って行った方がよい。部屋は冷蔵庫があるが小さすぎてあまり物が入らない。ベッドは枕、シーツ、掛布団が初期装備されていないので自分で買うか大学から借りるしかない。トイレとシャワーが一緒のユニットバスで、浴槽はない。

寮にはセキュリティーのスタッフが常駐している。

鍵はカードキーで寮に入る際にも必要となっている。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

外国人登録に必要な資料は最初のオリエンテーションで配られるが、証明写真を用意したり、日本大使館へ行くための予約することが必要になる。予約は早めにした方がよい。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8/27 履修登録ガイダンス&キャンパスツアー：バディの方が履修登録を手伝ってくれる

8/27～8/29 履修登録期間

8/28 ガイダンス&ウェルカムパーティ：性に関することや文化の違いに関するガイダンス。夜にはウェルカムパーティが街のごはん屋さんであった。ウェルカムパーティにはいろいろな国の人が集まる。基本英語で会話する。

9/2 授業開始

学生証は入寮する際にもらえる。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国までに TOEIC750 点を突破できるようにしたい。またスピーキングが苦手なので積極的に発言して克服していきたい。また毎日日記をつけて英語に慣れていきたい。外国人の友達をたくさん作りなるべく英語を使う機会を増やしていきたい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

正直留学までの期間勉強を怠りがちであったので授業が始まるまでの期間しっかり勉強してみたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

単語を忘れがちだなと自分で感じたので毎日単語を1セクション見直して頭に叩き込みたい。
また英語専攻だが韓国の方とも話して韓国語の能力も上げられるようにしたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	秋学期
月	①ACADEMIC ENGLISH 1 (9:00-10:30)
火	②BASIC ENGLISH WRITING (09:00-10:30) ③THE UNITED STATES AND THE EUROPEAN ECONOMIES (10:30-12:00)
水	①ACADEMIC ENGLISH 1 (10:30-12:00)
木	③THE UNITED STATES AND THE EUROPEAN ECONOMIES (9:00-10:30) ②BASIC ENGLISH WRITING (10:30-12:00) ④KOREAN INTERMEDIATE (15:00-17:00)
金	
土	
日	

4.2. 授業について

①ACADEMIC ENGLISH 1: (90分/1コマ)(2コマ/週)

授業の概要: PPTを見ながらの授業。ディスカッション多め。オンラインテストがある。内容はさほど難しくはない。

評価の方法: 課題、発表、中間テスト、期末テスト

②BASIC ENGLISH WRITING: (90分/1コマ)(2コマ/週)

授業の概要: 教科書にそってパラグラフライティングを行う。内容は難しくない。

評価の方法: 期末にエッセイを書く。

③THE UNITED STATES AND THE EUROPEAN ECONOMIES: (90分/1コマ)(2コマ/週)

授業の概要: 講義形式。経済学について少し前もって勉強した方が理解が深まる。内容は難しい。予習・復習が必要。

評価の方法: 課題、中間テスト、期末テスト

④KOREAN INTERMEDIATE: (120分/1コマ)(1コマ/週)

授業の概要: すべて韓国語での授業。教科書にそって講義形式で進めていく。中級なので内容は少し難しいところもあるが、先生がゆっくりわかりやすく説明してくれるので理解できる。ハングルなどは授業内ではやらないので予習が必要。

評価の方法: 課題、中間テスト、期末テスト

4.3. 予習・復習・自習について

①ACADEMIC ENGLISH: 教科書の単語を予習するとよい。教科書にオンラインで勉強できるサイトが載っているのでそこで自習もできる。

- ②BASIC ENGLISH WRITING: パラグラフライティングなので前もって自分で考えた文章をまとめる必要がある。
- ③THE UNITED STATES AND THE EUROPEAN ECONOMIES: WebStation のようなものに前もって授業に関する資料を教授がアップしてくれるのでそれを予習するとよいだろう。
- ④KOREAN INTERMEDIATE: 教科書を前もって読む。教科書にワークブックがついているのでそれを自習している。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>気候は日本と変わらない。食事は大体辛く味が濃い。日本に比べて Wi-Fi が飛んでいる場所がたくさんあるので助かる。日本に来る前に SIM フリーにしておくのと現地ですぐに携帯が使えるようになるので調べておいた方がよい。スーパーなどの袋は有料のところはほとんどなのでエコバックのようなものを持ち歩いた方が節約できる。袋が有料のため袋が集まらずゴミ袋が不足するのであらかじめ日本の 100 均などで袋をまとめ買いすることをお勧めする。韓国はクレジットカード社会らしく、買い物はほぼカードで決済できるが現金が必要な場所も少なくはないのでまとまったお金は持っておいた方がよさそう。韓国では Suica に似たもので T-Money という交通系 IC カードがあるが、建国大学の学生証が T-Money を搭載したのになっているので買う必要はない。またオリエンテーションの際に韓国で使える銀行口座を開設するための書類を書き、通帳とキャッシュカードをもらうことができる。また、そのキャッシュカードにデビット機能も付いているのでネットで買い物ができるようになる。</p>	

5.2. 課外活動について

<p>ルームメイトとショッピングに出かけたりカフェに行ったりゆったり過ごしている。授業がほぼ午前で終わり午後暇になってしまうので参考書を読んだり問題集を解いたりして勉強している。また学校からのお知らせで韓国人留学生のお手伝いができるというメールが届いたので、生活適応能力の向上のためにやってみようかなと考えている。</p>

5.3. 現在までの感想

<p>このまま 4 か月過ごして言語能力が上達するかがとても不安。もっと努力しなければという感情が強い。履修した授業が神奈川大学で単位変換できるか不安。</p>
--

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11 月)

所属	外国語学部	英語英文	学科 専攻
派遣先大学 (国)	建国大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	人文科学学科		
報告書提出日	2019 年 11 月 20 日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

英語と韓国語の語学能力向上が目標。英語は TOEIC700 点以上取りたい。韓国語は TOPIK3 級を取得したい。日本人だけでなくいろいろな人とも積極的にかかわっていききたい。人生の視野を留学で広げたい。将来の夢についてじっくり考えたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

単語帳を欠かさずやるという目標を立てたが 1 日も欠かさずにできたわけじゃなかったの、今月はしっかり取り組んでいきたい。何のために留学しに来たのか考える。韓国の方々と話して韓国語のスキルを上達させるのも目標であったが、積極的に韓国人の友達とご飯へ行ったり遊びに行ったりして関わる機会を自分から作れたと思う。

1.3. 今月の学習・研修目標

毎日予習復習を欠かさずにできるだけその日のうちに消化する。TOEIC の参考書を 1 日 15 ページ行う。単語帳も 1 日 1 ステージ行う。授業でも積極的に発言する。

2. 学修について

2.1. 授業について

・ACADEMIC ENGLISH

プレゼンテーション、中間テストが終わり、UNIT4 に入った。内容は Vocabulary、Reading、Writing、Grammar すべて基本的なことで、さほど難しくはないが、復習は必要。

・BASIC ENGLISH WRITING

中間テストの代わりに課題提出も終わり新しい単元に入った。Logical Paragraph から Compare and Contrast Paragraph へ。神大で受けた Paragraph Writing よりも文章の作り方が細かくて少し難しい。だが先生が丁寧に教えてくれるし質問にも答えてくれる。

・ INTERMEDIATE KOREAN

教科書にそって文法を学ぶ。会話で多く使われる文法を先生が抜粋して授業を行ってくれる。内容は少し難しいが先生がゆっくり丁寧にしゃべってくれるし進度もそんなに早くはないので理解できる。

・ THE UNITED STATES AND THE EUROPEAN ECONOMIES

先生の声が小さく、マイクを通して何を言っているのかわからない。さらに英語もおぼつかない様子でなんでこの授業を受けているかわからない。課題に使われている単語が難しいので時間がかかる。

2.2. 予習・復習・自習について

・ ACADEMIC ENGLISH

シラバスに次の授業でやる場所が書かれているのでそこを予習している。復習はその日出てきたわからなかった単語を調べるようにしている。自習は教科書に付属しているオンラインプラクティスをしている。

・ BASIC ENGLISH WRITING

教科書に書かれていることが少し難しいし、内容が重要なので予習復習で教科書を読み込むことは必要。時間内にパラグラフライティングを終わらせられなかった場合は自習が必要。

・ INTERMEDIATE KOREAN

授業内容についていけるか不安なので教科書を事前に読んで予習している。教科書に付属していたワークブックでも予習・復習している。

・ THE UNITED STATES AND THE EUROPEAN ECONOMIES

予習で事前にネットに上がっているノートを読んでおく。

2.3. 語学力について

英語は授業でしか使う機会がないので授業の時はひと 1 倍集中して聞くようにしている。TOEIC 対策の参考書をやりつつ映画やドラマなどを英語の日本語字幕で見てリスニング練習をしている。まだ英語を話すことに抵抗がある。韓国語は毎日使っているし日本語と似ているので成長が早くだんだん聞き取れるようになってきているなど実感している。英語でプレゼンテーションを行ったのだが、あまりにも緊張してしまっとうまく発表することができなかった。頑張って準備したのだが惜しい結果に終わってしまった。少しの準備不足でも緊張に繋がってしまうと思うので次のプレゼンでは落ち着いて発表できるように準備を完璧にしてプレゼンテーションに臨みたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
韓国の冬はとても寒く、氷点下になるので温かい防寒具は必要。ペディンという防寒具が韓国では	

主流なので日本から持ってきてもいいかもしれない。野菜がとても高いので食べられていない。火が使えないので1階にある電子レンジかウォーターサーバーのお湯で調理するものしか食べられない。普段はカップラーメンかチンでできるごはんとおかずですごし、たまに外食するときには野菜をたくさん摂るようにしている。寮はとても快適。洗濯室は夜になると混むので夕方うちに済ませておいた方がよい。

3.2. 課外活動について

休日はルームメイトや韓国人の友達と映画に行ったりテーマパークに行ったりごはんに行ったりしている。寮が都会にあるので電車に乗ればすぐ遊ぶところに出れるのでとても便利。近くにロッテワールドというテーマパークがあるので先日はそこにルームメイトと遊びに行ってきた。電車で10分ほどのところにありアクセスが良いし1日思う存分楽しむことができいいリフレッシュになった。

3.3. 現在までの感想

英語も韓国語もどっちつかずのまま留学が終わりそうで不安。4か月では完璧に習得できないとは思いますが全力を尽くして後悔のないように取り組みたい。韓国に来たときは不安でしかなかったが今は生活にも少しずつ慣れ勉強にも打ち込んでいるのでほっとしている。だがこのままでは確実に後悔する結果となってしまいそうなのでもっともっと勉強に打ち込みたいと思っている。韓国人の方はとても親切で思ったよりも反日の方は圧倒的に少なく感じる。困っているときには手を差し伸べてくれるし、一緒にご飯に行こうと言ったら喜んで行ってくれるし感謝している。ルームメイトは韓国語留学なのだがとても上手で毎日刺激をもらっている。負けず嫌いな性格なので、少しは彼女みたいにうまく韓国語をしゃべりたいと思いながら日々勉強している。英語留学でこんなことを言うのもなんだが、韓国で過ごす中で韓国語に対する興味関心が英語よりも大きくなってきている。将来どのような職業に就くか考えなおすことが必要かもしれない。

以上

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	2 年次
派遣先大学 (国)	建国大学 (韓国)			
所属プログラム・ 学部・研究科	人間科学学部	履修言語	英語	
留学期間	2019年8月～2019年12月			
報告書提出日	2020年1月15日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	9月2日 ～12月20日 (16週)	12月16日 ～12月20日	メールで送られてきた授業一覧をもとにシラバスを見ながら履修登録を行った。最初の1週間は科目を加除できた。先着科目が多いので指定時間になったらパソコンの前に張り付かないと自分の履修したい授業が取れなかった。大変だった。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	ACADEMIC ENGLISH	48時間	講義は月曜日と水曜日に90分。基本的に月曜日がスピーキング、水曜日が文法。演習は授業毎行う。中間・期末試験の勉強としては、教授が授業範囲を示してくれるのでそこを中心に教科書で行ったところを復習し、単語を調べなおした。レポートは計2回あった。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Fall Semester	BASIC ENGLISH WRITING	48時間	講義は火曜日と木曜日に90分。内容はパラグラフライティングの練習。毎回課題あり。中間・期末試験は、試験はなく課題を提出する。中間と期末の前にレポート提出がある。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 16(週)	
Fall	KOREAN	32時間	講義は木曜日に120分。内容は教科書に沿って文法を学

Semester	INTERMEDIATE	2(時間/回) × 1(回/週) × 16(週)	び自らで英作文などを作って発表していた。中間・期末試験は、教授が範囲を示してくれるのでそこを中心に教科書を見直してわからない部分を再確認して試験に臨んだ。レポートは計2回で、友達についてと旅行についてを韓国語でA4サイズに記入した。
----------	--------------	--------------------------------	--

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

わからないことがあったらその日のうちに消化し、わからないままにしない。シラバスに授業計画が詳しく書かれているのでそれを見て教科書を用いて復習をした。

1.4. 語学力について

英語については、留学中授業内でしか使う機会がなかったので、このままでは英語力が落ちると思いき、寮で TOEIC の文法の問題集を行ったり、単語帳を開いたりしていた。また映画などを鑑賞する際なども英語音声の日本語字幕などにし、リスニング力を養おうとした。韓国語については、留学前に第2外国語で勉強したものと独学で学んだ知識しかなく、何も聞き取れず喋れなかったが、帰国が近づく頃には日常会話レベルはもちろん、映画を鑑賞することもできた。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

英語については授業内でのみの使用であったので正直成長したかどうかは定かではないが、発表が多かったので発表慣れしたし、発表で使えるフレーズを学べたので日本でも生かしていきたいと思う。韓国語については授業内で会話練習、文法、発音などを習って基礎から学ぶことができた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

留学前の準備が足りなかったと感じたので、しっかりと語学力を上げてから留学に臨むことを勧める。毎日コツコツ続けることが大切であるので、1日で何とかしようとするのではなく、英単語を毎日10個ずつ覚えたり TOEIC の参考書を3ページやったり小さなことを積み重ねた方が伸びると思う。何事にも積極的に行うことが大切。例えば授業内で自ら発言したり、わからないことがあったら先生に直接聞きに行ったりなど。

2.3. 留学生活で得られたもの

友達がたくさんできてコミュニケーションスキルが上がったと思う。また文化の違う中で生活したので何をどうしたらいいのか予測しそれから行動へ移すことができるようになった。そして以前は他人と自分を比べてばかりいたが、留学していろいろな人と出会って多様な生き方があることを知り、自分は自分でしっかり考えて前へ進めばよいことを学んだ。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学中何日か家に引きこもっている日があった。せっかくの留学なのにと後悔したので休みの日はなるべく外へ出た方がよいと思う。あまり欧米の方と友達になることができなかったのもせっかくのチャンスを無駄にせず、留学生同士で交流した際などに友達になって出かけることをお勧めする。その方が英語を伸ばせる。火が使えないので日本からカップラーメンやお湯で作れるお味噌汁などを大量に持っていくことをお勧めする。韓国の料理は基本的に味が濃いので日本食が恋しくなる。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

所 属	外国語学部	英語英文学科	2 年次
派遣先大学	建国大学		4 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	同じ国のルームメイト 2 人で同居
3	入居時手続き	指定された建物へ行きカードキーをもらう
4	費用 (月額)	10 万 (ウォン) (食費 食費含む/月)
5	支払方法	クレジットカード
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	大型スーパーが近くにある。駅も近いしバスもたくさん通っている。
9	アクセス	寮からは約 10 分歩いて授業に向かう。駅からは歩いて 15 分前後かかる。
10	留学中の住居に関して アドバイス	火が使えないのでフリーズドライの商品か、レンジでチンする食べ物を食べることになる。

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地で SIM カードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	JK モバイルという日本語が通じるお店で SIM カードを購入し、月額制で課金をした
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1 ヶ月の平均)		
1	宿舍費	50 万 (ウォン) /月
2	食費	10 万 (ウォン) /月
3	交通費	3 万 (ウォン) /月
4	通信費	3 万 6 千 (ウォン) /月
5	娯楽費	10 万 (ウォン) /月
6	図書費	5 万 (ウォン) /合計
7	学用品 (教科書など)	10 万 (ウォン) /合計
8	被服費	10 万 (ウォン) /合計

9	医療費	0 (ウォン) /合計
10	雑費・その他	10万 (ウォン) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舎デポジット	20万 (ウォン) /合計
12	ビザ申請関連費	0 (ウォン) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	40万 (ウォン) /往復
14	その他	0 (ウォン) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	401.4万 (ウォン) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 3万円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: みずほ銀行) <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	した

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	東京海上日動保険 (4か月分で46034円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	いいえ
3	日本から持参した方が良かったと思う薬などがありますか? 理由はなんですか?	頭痛薬、偏頭痛持ちであったから

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	洋服、薬、化粧品、ヘアアイロン、電圧変換機、歯ブラシ、シャンプー、コンディショナー、ノート、筆記用具、靴、イヤホン、モバイルバッテリー、充電器
2	現地で購入したもの
	食べ物、飲み物、靴、洋服、化粧品
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていっていたら便利だと思ったもの
	Bluetoothスピーカー、お味噌汁の素、タッパー

VI. 留学先で困ったこと

お金の送金できなくて焦った時があったので、日本円を多めに持っていくことをお勧めします。日本食が恋しくなった時に友達からお味噌汁の素をもらったので日本から持っていくことをお勧めします。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

自信に満ち溢れている人や不安な人もいますが、悔いのないよう1日1日を大切に過ごし、留学が終わって帰って来た時に行って良かったと思える留学生活にしてください。